

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	言語聴覚障害概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 金3	教室名	702
担 当 教 員	松尾 泰子 高栴 有里	実務経験と その関連資格	言語聴覚士として川西市子ども発達センターいずみ園、あゆみ園勤務。発達障害児の言語訓練に従事(松尾)。言語聴覚士として安佐市民病院、瀬野白川病院病院に勤務。高齢者や発達障害児の言語聴覚療法に従事(高栴)。			
《授業科目における学習内容》						
<ul style="list-style-type: none"> 言語聴覚療法における様々な障害とその検査方法について解説する。 言語聴覚療法における対象患者の多様性を知り、患者対応について知る。 						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験70% レポート30%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:言語聴覚障害概論(医学書院) レジюме						
《授業外における学習方法》						
共同学習授業においては、仲間に説明が出来るようにポイントをまとめておきましょう。						
《履修に当たっての留意点》						
<ul style="list-style-type: none"> 将来、STとして働く心構えを身につけるとともに、幅広い専門性を学び、法令に背くことのない基本的理念を理解してほしい。 グループワークや検査演習などに積極的に参加し、共同学習を深めてほしい。 						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚士の役割を説明できる	レジюме参照 VTR(RST協会)	復習)レジюмеを自分でノートにまとめましょう	
		各コマにおける授業予定	授業インテーク/言語聴覚士の仕事			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚障害学の世界及び日本の歴史について主要事項を説明できる	教科書 資料	復習)レジюмеを自分でノートにまとめましょう	
		各コマにおける授業予定	言語聴覚士の歴史			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーションの理論と技能を説明できる 共同学習に積極的に参加できる	教科書 自作資料	復習)レジюмеを自分でノートにまとめましょう	
		各コマにおける授業予定	言語聴覚障害入門(共同学習:言語とコミュニケーション)			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーションの理論と技能を説明できる 共同学習に積極的に参加できる	教科書 自作資料	復習)レジюмеを自分でノートにまとめましょう	
		各コマにおける授業予定	言語聴覚障害入門(共同学習:言語とコミュニケーション)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚障害の定義を説明できる	教科書 資料	復習)レジюмеを自分でノートにまとめましょう	
		各コマにおける授業予定	言語聴覚障害の種類			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害の症状について説明できる	教科書 資料	レジュメの復習をしておいてください。
		各コマにおける授業予定	言語聴覚障害の種類 高次脳機能障害に伴うコミュニケーション障害		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害の症状とその対応について考えることができる	教科書 資料	レジュメの復習をしておいてください。
		各コマにおける授業予定	言語聴覚障害の種類 高次脳機能障害に伴うコミュニケーション障害		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	音声障害の症状について説明できる	教科書 資料	レジュメの復習をしておいてください。
		各コマにおける授業予定	言語聴覚障害の種類 音声障害		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	音声障害の評価方法について説明できる	教科書 資料	レジュメの復習をしておいてください。
		各コマにおける授業予定	言語聴覚障害の種類 音声障害		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	構音障害種類と症状について説明できる	教科書 資料	レジュメの復習をしておいてください。
		各コマにおける授業予定	言語聴覚障害の種類 発話障害		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	構音障害の評価方法について説明できる	教科書 資料	レジュメの復習をしておいてください。
		各コマにおける授業予定	言語聴覚障害の種類 発話障害		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	吃音の症状と対応について説明できる	教科書 資料	レジュメの復習をしておいてください。
		各コマにおける授業予定	言語聴覚障害の種類 吃音・流暢性障害		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	関連職種との連携について説明できる	教科書 資料	レジュメの復習をしておいてください。
		各コマにおける授業予定	言語聴覚療法		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚士の倫理、リスクマネジメントについて説明できる	教科書 資料	レジュメの復習をしておいてください。
		各コマにおける授業予定	言語聴覚士の職務		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの知識の整理ができる	教科書 資料	これまでの講義の中で分からなかった所があれば質問してください。
		各コマにおける授業予定	まとめ		